

関連項目：教育活動プラン④、⑥

交流の輪を広げて

目的

本校は、へき地・極小規模校（一人学級）であり、児童が多様な考え方や表現にふれる機会が少ないため、思考や表現の多様性が生まれにくく、深まった学習や人間関係が成立しにくい現状がある。そこで、集団の中でコミュニケーション能力を伸ばし、豊かな心とたくましさをもった児童を育成するために、交流の輪を広げる機会を多く設けるような実践を行うことにしました。

内容

● 庵治小学校児童との交流学習

5月はスポーツテスト、6・7月は庵治小学校プールでの水泳学習に、9月からは原則、毎週水曜日の3・4校時に交流学習を進めている。多人数学級の中での学習体験を通して、発表のルールを知ったり、自分の意見を発表したりすることで、社会性や表現力を高めることにつながっている。



● 『すこやか保育園』児との交流

就学前もいっしょに過ごしてきた『すこやか保育園』児。隣接している立地条件ということもあり、自由参観日や体育発表会などの際には、ともに活動を楽しむ場面を設けている。ふれあい活動をともに楽しむ中で、年少者の立場になって考え行動しようとする思いやりの心を育む場としている。

● 大島青松園入所の方々との交流

○ 栽培活動を通して

休校前からずっとお世話になっている青松園入所の方に、土作りや世話の仕方などを学び、トウモロコシやミニトマト、シシトウ、ハクサイなど、野菜の栽培を行っている。

○ 学校だより『しおさい』配布を通して

学校の様子や児童の活躍などを広く知ってもらうために、毎月発行の学校だより『しおさい』を児童とともに青松園入所の方々に、直接手渡し配布している。

○ 行事への参加を通して

夏祭りや敬老祝会・もちつきなど、時節の行事に参加したり、招待を受けたりする中で、楽しいふれあいの時間を持ち、自己を積極的に表現しようとする場としている。



成果

交流学習を通して、集団行動のルールや学習規律などを体得し、たくさん子どもたちとふれあうことで、自分の意見や思いを交換でき、表現力を高めたり人間関係を広げたりしています。また、学校だよりを直接手渡し配布することで、青松園入所の方々との会話も増えてきています。